

総合英語ゼミ 復習シート

比較文とそのベース

1. 次の比較を用いた英文のベース部分に下線を引きなさい。
 - (1) He is as tall as Mr. Sato.
 - (2) He is taller than Mr. Sato.
 - (3) He is the tallest in our class.
2. 次の日本語を「ベース文に下線を引いた後に」適切な英文に直しなさい。
 - (1) 彼は私と同じくらいたくさんの本を持っている。
 - (2) 彼はクラスメートの誰よりも速く泳げます。
 - (3) サキはケンの2倍（多く）の本を持っています。
3. 次の日本語を「ベース文がどのようになるか考えた後に」適切な英文に直しなさい。

この町の人口は私たちの町の人口の3倍です。
4. 次の文の（ ）内に適切な日本語を入れなさい。

比較を用いた英文の形を考える際はまず初めに（ ）がどんな形になるかを考えることが大切だ。

総合英語ゼミ 復習シート

関係代名詞と関係副詞

- 次の各英文の *it* を関係代名詞に替えて2つの文を1文にしてください。
 - (1) This is the book. It is popular in Japan.
 - (2) This is the book. I like it very much.
- 次の各英文の 下線部を *which* または *where* に替えて2つの文を1文にしてください。
 - (1) This is the city. It is popular among Americans.
 - (2) This is the city. I lived here ten years ago.
- 次の英文の () 内に *which* または *where* を入れて適切な英文にしてください。
 - (1) This is the city () I lived in ten years ago.
 - (2) This is the city () I visited ten years ago.
 - (3) This is the city () I like the best.
 - (4) This is the city () I met her for the first time.
- 関係代名詞と関係副詞についての別次の文の空所に適語を入れない。
it や *he* などの代名詞が変化して節をつなぐ接続詞の働きを兼ねるようになったものが関係 () 詞であり、*there* などの副詞や *in the city* などの () 詞 + () 詞 (=副詞句) が変化して接続詞の働きを兼ねるようになったものが関係 () 詞である。



総合英語ゼミ 復習シート

仮定法の基本

1. 次の英文の仮定法部分に下線を引き、その上で日本語に直しなさい。

I wish she were my sister.

2. 「仮定法」とは何か？その定義を書きなさい。

仮定法とは・・・

・・・である。

3. 次の英文の仮定法部分に下線を引き、その上で日本語に直しなさい。

If it were sunny today, I would go to that park with her.

4. 次の日本語を適切な英文に直しなさい。

もし昨日晴れていたら、彼女と一緒にあの公園に行っていたらう。

5. 次の英文で下線部が不適切な理由は何か？説明しなさい。

I wish it would be sunny today.

総合英語ゼミ 復習シート

法と動詞の形

1. 英語の「法」に関する次の文の（ ）内に適語を入れなさい。

①（ ）法

→ 事実とは異なる仮定や願望を表す際の（ ）の形

②（ ）法

→ 事実を事実として述べる際の（ ）の形

③（ ）法

→ 話している相手にこれからして欲しいことを伝える際の
（ ）の形

2. 仮定法に下に関する以下の文の（ ）内に適語を入れなさい。

仮定法の世界では・・・

現在の事実に反することは（ ）形で表し

過去の事実に反することは（ ）形で表す。

3. 次の日本語を適切な英文に直しなさい。

(1) もし昨日雪が降らなかったら、今日公園で野球をするだろう。

(2) もし昨日もっと勉強していたら、今日のテストで満点取れるだろう。